

# 松本日本語カフェ『Mcafe』の実施について

心のご近所さん♡Mは  
みんなのM♡みんなでMottoHappy

松本市 鶴賀 幸

課題 『外国人の親が交流し、日本語を学ぶ場が必要だがまだない』

理由  
背景

★松本市には、外国人と日本人が『親』としての共通課題を持って交流する場がない。

★子どもの生活、社会参加には、親の社会参加が必要。

実施  
内容

- 仲間と有志スタッフを結成
- 松本日本語カフェ『Mcafe』の立ち上げ!
- 個人、行政機関との連携づくり
- 日本語教室等との連携づくり

ファシリテーション

リソースの把握と活用

連携

方法の開発

- Mカフェミーティング(計10回)
- 先輩外国人お母さんを招いて体験を聴く会
- Mカフェスタッフトレーニング
- お母さんたちへの広報
- プログラムメニューの検討

考えたこと、行なったことの変遷

START

日本で子育てする外国人お母さんのための日本語と仲間づくりの支援

日本語教室、地域社会との交流の場をつくる

- 必要な3つの要素
- ① 外国人お母さん
  - ② 先輩外国人お母さん
  - ③ 日本人お母さん

ある外国人お母さんの一言

当日問題解決は無理



初めて会う人とどこまで話せるか?

外国人お母さんを招いて体験を聴く

お母さんを取り巻く様々な問題、不安

視点の変化

プログラム

生活に役に立ちみんなで楽しめるもの

必要な5つの要素

- ① 外国人お母さん ♪ ゲスト
- ② 外国人先輩お母さん ♪ 楽しんで
- ③ 日本人お母さん ♪ もらう
- ④ 地域住民 ♪
- ⑤ Mスタッフ (ステージづくり)

カフェのデザイン  
テーブル

準備

研修前 行政窓口へ『～てください』(要求型)

実施中 相談する  
Q『どうしたらいいでしょうかね』  
(主旨に共感してもらう)

実践 A『いいことだから応援しますよ』

結果 A『この施設を使ったらいい』

Goal (後援)(アイデア)

計画書  
書案 NO

主旨の書かれた  
PR文

松本市地域日本語  
コーディネーター

松南地区  
公民館

松本市人権男女共生課

『Mcafe』  
(会場の無償提供)

青写真はしっかり! 出来上がったものは持って行かない!

